



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
1月13日
発行

第163回

「ものづくり日本の底力」

～今年は製造業に注目～

初めに

明けましておめでとうございます。遅くなりましたが、新年初のウィークリーレポートです。本年もよろしくお願いいたします。

日経平均は大発会でいきなり急落し、ヒヤリとさせられましたが、その後は方向性のない状況が続いています。投資家の多くは様子見との考え方だと思いますが、自分はそうは思いません。今年の日株は大幅上昇と見ており、現在の状況は買いチャンスと考えています。今回は、そう考える理由についてお話しします。

設備投資は上方修正

昨年12月に発表された日本経済新聞社の設備投資動向調査では、全産業の投資額が前年比25.1%増となり、4月調査から上方修正されました。自動車の設備投資が全体を押し上げたほか、精密機械や半導体関連も投資増が目立った、とのこと。先に述べたように、現在、多くの投資家は株式に弱気まではいかなくてもそれほど強気ではないと見ているようですが、その一方で、設備投資動向調査の結果を見ると経営者は将来の業績に強気の考えだと思います。これが、自分が株式投資に強気に考えている一番の理由です。

各社が競って設備投資を積み上げているのは、現在が科学技術・政治など様々な点で転換期にあり、それに対応するために設備投資が不可欠ということだと思います。自動車を例にとると、みなさんご存知のように、ガソリン車からEVへの転換は既に規定事実となっています。また、自動車そのものについても単なる輸送手段というだけでなく、くつろげる場所というニーズも高まってくるかもしれません。

京セラは半導体に大型投資

そうした中、昨年一時減少した半導体などへの需要が今年盛り返すことは間違いないでしょう。京セラは半導体の分野で1兆3千億円の設備投資を発表しました。この巨額投資はそれだけ自信があることを示したものと、自分は解釈しています。

ソニーは宇宙へ進出

地球を越え宇宙へ飛び出したのがソニーです。宇宙から地球や星を撮影する超小型の人工衛星の打ち上げに成功しました。衛星に積んだカメラで地球を撮影できるサービスを今春から始める予定です。

安全保障分野にも注目

ウクライナでの戦争は続いており、中国による台湾への圧力もまだ続きそうです。日本でも安全保障に関する議論が高まっています。今年の日株市場でも安全保障関連は注目されると見えています。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。